

11月は販売促進・食育月間

～ 県が開発したお米「粒すけ」の紹介・地産地消の推進 ～

千葉農業事務所企画振興課

令和3年12月6日 発

県は、ダイコンやサツマイモといった秋冬野菜など、旬の県産農林水産物が豊富に出回る11月を「ちばと一緒に！販売促進月間」及び「ちばを食べよう！ちばの食育月間」と位置づけ、販売促進活動や食育の取組を展開しています。

そこで、千葉農業事務所は11月21日（日）に、やちよ農業交流センター（八千代市）で開催された八千代市酪農体験学習の参加者に対して、県が開発したお米「粒すけ」と、地元の酪農協が集乳した牛乳や、八千代市産のにんじんを使用したドレッシング等、八千代市産の農畜産物を紹介しました。

また、日本では「食品ロス」（食べられるのに捨てられている食品）が、年間約570万トン発生しており、そのうち約半分が家庭から発生していることを説明し、その削減方法について紹介しました。

参加者の皆さんは熱心に聞いてくださいました。

